

富士土木事務所 富士宮分庁舎
高橋 陽

入庁年 ▶ 令和6年度



採用
2年目

最初に、自己紹介をお願いします。

静岡県富士市生まれ富士市育ちです。小学校から高校まで野球をやっていました。高校では都市基盤工学科で土木について3年間学んできました。

現在、担当している仕事について教えてください。

富士宮市内の道路工事や河川工事の発注業務・監督業務を担当しています。富士宮市が生活しやすい場所になるようにと考えながら日々仕事をしています。



静岡県職員（土木）を目指したきっかけは？

富士川に新しく架かった「富士川かりがね橋」ができるまでの過程を高校の登下校時に見てきました。その時私は、「自分もこのような大きな構造物を作る仕事に携わって、生まれ育った静岡県に貢献したい。」と思い静岡県の職員を目指しました。

入庁する前に不安だったことはありますか？

入庁する前は、具体的にどのような仕事を行うのか、それが自分に務まるのか不安でしたが、職場の先輩方に工事設計書の作り方や住民の方への対応の仕方など一つ一つ丁寧に教えていただき問題を解決することができました。

これまで仕事をしてきた中で、嬉しかったことは？

自分が担当した工事で、自分が図面に書いたものが実際に出来上がった時は毎回達成感があり、嬉しい気持ちになりました。また、研修で身に付けたことを生かして設計書が仕上がった時もうれしく思いました。

これまで仕事をしてきた中で、印象に残っていることは？

富士山の登山道パトロールです。富士山の富士宮口は富士土木事務所が管理しており、登山シーズン中の安全を確保するため、頂上まで登ってパトロールをしてきました。いつか登ってみたいと思っていたのと、このような仕事も土木事務所の仕事と知りとても印象に残っています。

未来の後輩に向けて、ひとことお願いします。

土木は、人々の生活にとっても直結している職業なので、やりがいのある魅力的な職業だと思います。また、優しく何でも教えてくれる先輩方がたくさんいるので、安心して採用試験を受けてほしいです。

仕事以外に熱中していることはありますか？

昼休みに職場でサッカーをしています。全くの初心者ですが、毎日、汗をかきながら楽しくやっています。週末には事務所対抗などでたまに大会があるので積極的に参加しています。

同僚の方へ質問
高橋さんってどんな人ですか？

物おじせず、取り敢えずやってみるという前向きな姿勢で業務に取り組んでくれています。また、工事発注や窓口対応等、責任を持って日々の業務をこなしてくれる頼もしい存在です。



宮島主任



▼ 橋梁補修工事の着手前に、施工業者と現場を確認

